



経理
ご担当

システム
ご担当

の皆さま



振込が便利になります!

2018年12月(予定)から、総合振込において、さまざまな情報(支払通知番号、請求書番号など)を受取企業に送ることが可能になります!
そのお手伝いをするのが「全銀EDIシステム(Zengin EDI system)」(愛称: ZEDI(ゼディ))です。

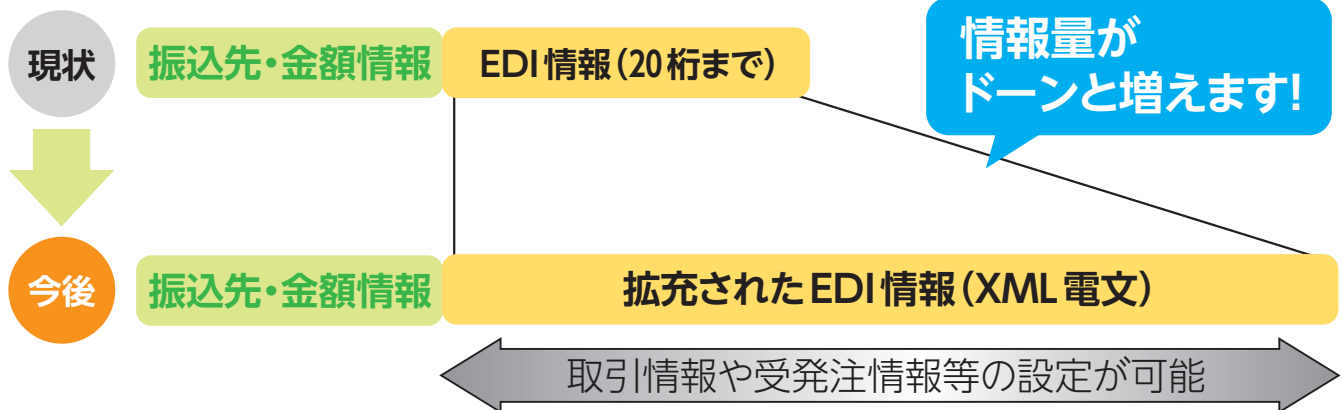


振込がどう便利になるの?

振込の際に送信できる情報量が増えるのよ



総合振込の際にお使いのフォーマットに設定可能な情報が拡充します



EDI情報: 支払企業から受取企業に伝達するメッセージ。支払企業側が設定
XML電文: 電文の長さなどを柔軟に設計・変更することが可能な電文方式

〈全銀EDIシステム構築の背景〉

未来投資戦略2017

金融EDIの活用を起点とした「企業の成長力強化のためのFinTechアクションプラン」*により、財務・決済プロセス全体の一括した高度化を図る。

*「金融EDIの推進等による金・商流連携の推進」の中で、金融機関におけるXML電文化について、2018年中のXML新システム稼動等に着実に取り組むとされている

どのように便利になるのか? お客様がご利用された場合のメリットは? 裏面をご覧ください。

情報の拡充により、経理関係事務を効率化

お金を受け取る企業(受取企業)

現状

売掛金と入金額が合わない!

請求書から差額の原因を調べないと...

金額と一緒にその内容が分かる情報があればなあ

特定できなければ、支払企業に問合せ



消込業務に膨大な時間とコストが...

お金を振り込む企業(支払企業)

問合せで大変だ!

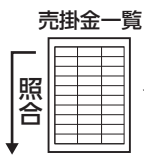


振込先企業からの問合せ対応が大変!

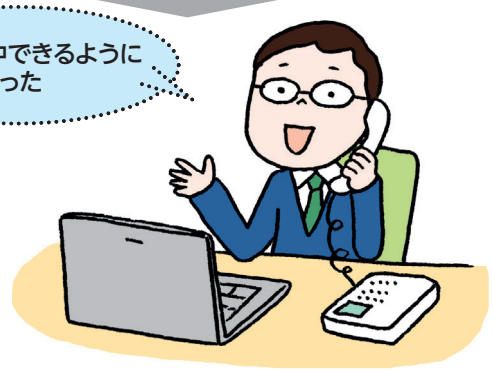
今後

EDI情報が拡充されたおかげで、売掛金と入金額の照合が楽になったよ

業務に集中できるようになってよかった



振込先・金額情報 EDI情報(取引情報等)



売掛金の消込作業※が効率化

問合せへの対応負担が軽減

※消込の自動化には、会計ソフト等の導入が必要となります。

受取企業と支払企業の双方において、生産性向上や人手不足解消につながります。

将来的なEDI情報の活用策

アイデア1 電子領収書としての利用

電子領収書のメリット

支払企業

- ▶ 領収書の保管コストの削減
- ▶ 領収書の管理負担の軽減

受取企業

- ▶ 印紙税が不要
- ▶ 領収書作成・郵送コストの削減

アイデア2 取引金融機関による新たなサービスの提供

想定事例1

コンサルタント機能や提案活動

想定事例2

ビジネスの将来予測や業界動向の分析

想定事例3

取引情報分析による小口融資等

ZEDIを利用するには...

現在の振込方法

ATM、銀行窓口、ファクシミリ



ファームバンキング、インターネットバンキング

ファームバンキング、インターネットバンキングへの加入

利用に必要な

ソフトウェアのバージョンアップ等

ZEDIに対応したファームバンキング、インターネットバンキング

もっと詳しく知りたい場合はWebで

<https://www.zenginkyo.or.jp/abstract/efforts/smooth/xml/>

全銀EDIシステム

検索



全国銀行協会では、他にも振込時間拡大(全銀システムの24時間365日稼働化。2018年10月予定)などの決済高度化に向けた取組みを進めています。

詳細は、取引金融機関に直接お問合せください。